

京都労山

2025年10月号

No. 388

発行日

2025年9月16日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

10月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 教育委員会	0 1
* 事務局長会議報告	0 2
* 自然保護セミナーの案内	0 3
* 第16回初級登山学校報告	0 5
* 第31回雪崩講習会の案内	0 6
* ヒヤリ・ハット取りまとめ	0 8
* 北部交流ハイキング案内	1 1
* 女性委員会山行案内	1 2
* クライミング委員会山行報告	1 3
* 連盟交流会の案内	1 6
* 60周年事業実行委員会第9回の報告	1 7
* 大文字山登山道整備活動の報告	1 8
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	1 9
* 全国登山者研究集会の案内	3 3
* オンライン海外山行集会	2 5
* 2026年労山カレンダー申し込みについて	2 6
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第56回中ノ岳	2 8
* 10月号の案内	2 9
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

そろそろ変革の時かなあ・・・

教育委員会・山下建男

9月2日付け京都新聞9面「変わりゆく大峰奥駆修行」と題して聖護院・宮城泰年門主（93）が「脈々と受け継がれてきた行が失われる」ことについて「悔しい思いが強いが、時代とともに修行が変化するのを否定することは出来ない」と。

「危険を伴う修行でどこまで安全性を優先させるべきかについては問い直す必要がある」と書かれていました。

いきなり、このような事から書き始めると「初級取り組みの見直し」がテーマのように受け取られそうですがそうではありません。ただ、初級が始まって33年の月日が過ぎました。33年経ってもその「目的」「机上・実技」の内容は概ね開講当初から変わっていません。一度全国連盟で登山学校についての語り合ったときにふと思ったのですが「京都・初級登山学校の内容は素晴らしい他の県ではまねが出来ないシステムを先人が作り上げた」と自慢しました。開校当初のスタッフだけで無くそれを受講する受講生の「技量・体力・知識」も優れた物だったと思います。それ故、高度な課題にも積極的にチャレンジして見事それを乗り越えてきました。いまその方々が連盟の発展に寄与しておられます。そして33年過ぎた中で初代のスタッフは当然の事ながら代替わりが進みました。そして受講生も毎回新しい方が受講され終了されています。受講される連盟会員の「技量・体力・知識」が年々会員の高齢化に伴い低下が見受けられるようになっていく傾向を感じています。連盟会員の高齢化は新規会員の減少も一つですが「新規会員の高齢化」にも由来していると思われます。新規会員の高齢化は「体力の低下」「浅い登山歴」「浅い登山知識」など開講当初、「目的」に適合した受講生からかけ離れた状態になっています。受講生の「高齢化」「体力の低下」「浅い技量」は初級を支えるスタッフの「強いストレス」になっています。幾度となく「初級登山学校の実技内容を考えてみては」と出した討論がなされてきましたが「当初目的」にそう実技課程の大きな変更はありませんでした。しかし、毎年受講生が変化する中でそれを受け止めるスタッフの意識は相当なストレスに悩まされています。同じ人を毎回教えるのではなく毎回違う人を教えることは相当な忍耐力と自己犠牲が必要になります。受講生の「高齢化」「体力の低下」を揃える事は出来ない中で受講生の条件を何処かで統一するか、色な受講生が安全に動ける実技内容に替えるか、あるいは一度に二つの条件を同時に変えるか次回の開校までにまた見直す必要があると思います。

巻頭に聖護院門主の言葉で「危険を伴う修行でどこまで安全性を優先させるべきかについては問い直す必要がある」と言われています。

初級登山学校もしかりかなあ・・・・・・

事務局長会議報告

(各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

9月2日報告のみ: やましな, 乙訓, 右京, 西山, 伏見, 洛中, 明峯, 山城, 左京 9 労山報告

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]<例会>8/3 曾爾高原 6 人, 17 沢登り・湖南アルプス天神川 7 人、24 六甲ガーデンテラスでジンギスカン交流会 10+1 <予定>9/7 東山トレイル(赤山禅前寺～白川), 21 入道ヶ岳(鈴鹿 7), 25～28 熊野古道小辺路<その他>9/30 「2025 みんなで夏山交流会」酔心、10/30 「右京労山 60 周年記念行事について」(ZOOM にて)

・[やましな]<例会>8/6 早朝大文字トレ 9 人, 23 ビアパーティー 17 人, 28～31 燕岳～蝶が岳 3 人<予定>9/10 グランドゴルフ, 28 バスハイクトレ比叡山<その他>大文字山例会 7, 8 月隔週水曜日 7 時集合で実施(北斜面歩き) 4 回 26 名の参加あり

・[西山]<例会>8/6～9 燕岳～常念岳 8 人, 17～21 北岳・間ノ岳 6 人<予定>9/12 道なきポンポン山, 12 読図山行瓢箪崩山, 17～19 木曾駒ヶ岳<その他>第3回山行計画会議 9 月 7 日(来年 3 月までの山行予定を決める)

・[乙訓]<例会>8/10 摩耶掬星台(夜景)6 人, 24 鍵温泉～唐松 5 人, 25 友ヶ島 9 人<予定>9/6 比叡山(ヒエトレ)、20 沢山<その他>夏山集中下山時に 2 名怪我あり

・[洛中]<例会>8/9～10 (60 プレ) 南アルプス光岳 4 人, 9～18(60 プレ)海外キリマンジャロ 4 人<予定>9/13 (60 プレ) 鳳凰三山, 15(60 プレ)船岡公園歴史散歩

・[伏見] <例会>8/19～22 湊沢テン泊 6 人、大文字トレ 8/9, 13, 20, 27 4 回計画 35 人<予定>9/13～15 空木岳, 21～22 高森山と友ヶ島, 27～30 雨飾山から白馬岳

・[明峯]<例会>8/6 須磨アルプス 2 人、17 五山送り火消しズミ拾い 5 人<予定>9/13 金勝アルプス, 23 (大原 10 山) 金比羅～翠黛山, 27(50 周年記念)比良を歩こう

・[山城]<例会>8/2 伊吹山バス花とイヌワシ 6 人, 24～27 八海山(新潟) 4 人

・[左京]<例会>8/17 大文字山 3 人+2, 27 「夏山報告」PC で写真を見る 7 人

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

① 2025 交流会 11 月 8 日(土)予定。第 3 回のお知らせ京都労山 9 月号に掲載。

各会の実行委員で参加者をまとめ、やましな山の会青山大地さんへ報告。締切り 10 月 5 日。内容は 1. 交流ハイク(深山)2. 研修集会 3. 全体集会の 3 本柱。会場は「あかまつの丘西本梅」参加費無料。亀岡駅に送迎無料バスを用意。60 周年記念事業の一環。各会からの積極的な参加を求める。「京都 18 労山の交流と世代間での経験・技術の継承」に添った内容としたい。

② 北部交流ハイク(ハイキング委員会)。9 月 28 日(日)「鬼が城」担当福知山山の会。

③ 遭難対策部より 7 月ヒヤリハット・事故報告のまとめ「京都労山」9 月号に掲載。

10 月の事務局長会議は、10 月 7 日(火)PM 7 時半から。WEB 専用会議とします。

2025年度 京都労山 自然保護セミナー案内

自然保護委員会

連続テーマ「北陸新幹線延伸計画」の環境問題を考える（7回目）

「巨椋池干拓地の鳥類と新幹線車輛基地」

2018年12月の新聞記事「美しい自然・景観を壊す北陸新幹線延伸計画」「地下水の枯渇・減少を懸念」が発端となり、自然保護委員会ではこの問題にとりくみ、学習と署名に取り組んできました。今回は連続テーマの7回目です。北陸新幹線延伸計画の車輛基地予定地の巨椋池干拓地は、京都府有数の豊かな鳥類の生息地で、希少野鳥も多く棲む重要なエリアです。「明かり区間」となり、車両基地が建設されれば、農地が失われ鳥類等の生息が脅かされます。日本野鳥の会京都支部など3団体は、今年3月京都府知事に対して、計画の中止を含む行政勧告を求める要望書を提出しています。

講演：「巨椋池干拓地の鳥類と新幹線車輛基地」

日時：2025年12月13日(土) 13:30～16:30

会場：京都教育文化センター 301号室

講師：日本野鳥の会京都支部から

定員：60名 会員外の一般参加も歓迎です。

参加費：300円

オプション企画 現地での観察会

テーマ：巨椋池干拓地に生息する鳥類

日時：12月20日(土) 午前

講師：日本野鳥の会京都支部

定員：20名

行程：近鉄小倉駅から徒歩で現地へ（約40分）

参加費：別途（700円位予定、講師代及び保険料）

申込先：各会の自然保護委員、または下記にお申込み下さい

担当射場（090-3613-2346 or SMS）まで

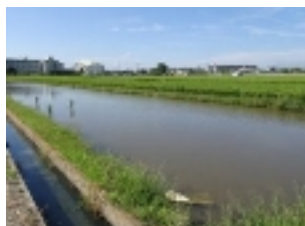
所属会、氏名、電話番号と、「セミナーのみ」、「観察会のみ」、

「セミナーと観察会」を明示してください

〆 切：11月20日（木）

＜夏～秋はシギ・チドリ、冬は猛禽 巨椋干拓地＞

(日本野鳥の会京都支部HPから)



巨椋池干拓地は京都市伏見区～宇治市～久御山町に広がる農耕地。干拓される前の巨椋池は水域面積約 800 ヘクタールの京都府最大の池で、宇治川の遊水地として洪水時の水を一時的に溜める役割を果たしていました。その巨椋池が昭和 8 年から 16 年にかけて干拓され、634 ヘクタールの水田に生まれ変わりました。その後の減反政策によって、現在は一面の水田ではなく、野菜畑（特に九条ネギ）や麦畑、ビニールハウスなど多様な農耕地に変貌しています。

【鳥相】

留鳥のケリ、イソシギ、タマシギに加え、夏から秋にかけてコチドリ、トウネン、ムナグロ、タカブシギ、アオアシシギ、チュウジシギ、オオジシギなどのほかセイタカシギやエリマキシギなども渡来します。冬になると、農耕地に集るドバトやスズメなどを狙ってオオタカ、ハイタカ、ハヤブサ、ノスリ、チョウゲンボウ、コチョウゲンボウなどの猛禽がやってきます。このほか、ニュウナイスズメ、オオジュリン、ミヤマガラスなどの冬鳥も見られます。

＜北陸新幹線京都駅 3 ルート案＞ 車両基地位置 (2024 年鉄道運輸機構)



車両基地

第16回初級当山学校報告書

教育委員会：山下建男

8月27日（水）京都教育文化センターにおいて「第16回初級登山学校修了式」を無事と執り行いました。これにより「第16回初級登山学校」の課程全て修了したことを報告いたします。

第16回初級登山学校には7労山・12名の方々が受講されました。

伏見山の会3名、乙訓山の会1名、やましな山の会1名、田辺山友会1名、西山 HC 2名、洛中労山3名、福知山山の会1名、計12名。

講師には机上講師として明峯労山2名、らくなん山の会1名、やましな山の会1名、右京労山2名、計6名。実技講師として伏見山の会1名、明峯労山2名、洛中労山4名、乙訓山の会5名、西山 HC 3名、らくなん山の会1名、右京労山1名、計17名の皆さんからご支援をいただきました。

教科として机上11項目、実技17工程を修了いたしました。

ここにご支援をいただい方々にお礼を申し上げます。有難う御座いました。

初級登山学校は開校から数えて33年を過ぎました。2年に1回の開校ですがその「目的」「机上・実技項目」は一部の手直しはあっても継続した形で執り行っています。これは初級登山学校を支えていただいた連盟の力だと思います。連盟無くして初級登山学校はあり得ません。第17回初級登山学校は2026年10月開校を予定しております。引き続きご支援をお願いいたします。



第16回初級登山学校修了記念フォト

第31回 雪崩

近畿ブロック

事故を防ぐための

講習会

参加者募集!



雪山を楽しむ方に必須の「雪崩の知識と対処法」
について実践的に学びます。

主催 日本勤労者山岳連盟 近畿地方協議会

Theory

理論講習

日 時：2025年12月6日（土）
9時00分～15時45分
場 所：大阪府勤労者山岳連盟事務所
※来れない場合は、リモートでも受講可能。
※テキストは「雪崩教本」（山と溪谷社：増補改訂版）を使用しますので各自で事前にご購入、一読ください。

天候などの都合により、理論講習とビーコン講習の日程を入れ替えることがありますのであらかじめご了承ください。

Practice

実技講習

日 時：2026年1月17日（土）～18日（日）
場 所：大日ヶ岳山頂 付近
集 合：1月17日7時00分
高鷲スノーパーク センターハウス
インフォメーションカウンター
※各自現地集合 終日実技講習

1月18日 8時00分～14時30分 実技講習
15時00分頃 解散

Beacon

ビーコン講習

日 時：2025年12月7日（日）
9時30分～16時00分
場 所：須磨浦海岸
※JR 須磨駅改札前集合

実 技 内 容：

- 雪崩ビーコン
（アバランチトランシーバー）の基礎
- ビーコンを使った捜索方法などを砂浜で学びます。
持ち物：ビーコン、筆記用具、手袋、
防寒・防風衣類など

（実技内容）

- ・積雪断面観察
- ・積雪の危険度評価
- ・コンパニオンレスキュー
- ・ビーコン捜索
- ・シャベリング（掘り出し） など

受講料

(理論講習+ビーコン講習+実技講習) 19,500 円

※宿泊費 (1泊2食)・ゴンドラリフト代含む

※現地集合 (現地までの交通費は含みません)

(理論講習+ビーコン講習) 5,000 円

(理論講習) 2,000 円



※ビーコン、プローブ、シャベルは各自でご用意ください

(理論講習時に雪崩対策装備を購入する場合のアドバイスをします)

定員

基本クラス 18名

※中級クラスの開講はありません。

※基本クラスの複数回受講者が増えた時点で、将来的に中級クラスの開講を検討します。

申込方法

右記のQRコードから申込フォーマットへアクセスし、必要事項を入力の上お申し込み下さい。



申込締切

11月9日(日) ※定員になり次第締め切ります。

①参加費の振込先は申込受理後にお知らせいたします。

①労山基金または一般の登山保険に加入をお願い致します。

①申込後のキャンセルはキャンセル料が発生します。

連絡先：kinki.nadare31@gmail.com (近畿ブロック雪崩講習会事務局)



ヒヤリハット・事故報告書まとめ

遭難対策部

<事故報告>

7月 1日 時 75歳 男性 大峰山 朱雀岳
事 象 その他 歩行困難によるヘリ要請
前日より歩行が遅く、山小屋到着が17時の予定が20:10だった。
到着が遅れたため、翌日の打ち合わせが出来ず翌朝出発。どんどん遅れていき、歩行困難になり休憩(睡眠)しても回復せず、ヘリ要請となった。
病院到着後、治療(点滴3本)後回復。病院で一晩過ごし、他メンバーは深山の避難小屋で一晩過ごし、翌日合流し下山した。

教 訓 一日目の状況から、二日目のルート(下山判断など)をリーダー間で検討すべきだった。既往症(糖尿病)で服薬されていたが、リーダーには知らされていないかった。(お助け袋に服薬などを記入されたものを、お持ちだったはず)

<事故報告>

7月29日 12時 55歳 女性 鹿島槍ヶ岳
事 象 その他 足をひねった
2泊3日の行程(種池山荘、冷池山荘宿泊)で、北アルプス爺ヶ岳柏原新道登山口より入山、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳へピストン登山。3日目の下山時、柏原新道にて登山終了点まで残り1時間程前、下り道で足をひねり、足首が骨折することとなった。

教 訓 登山時、特に下山時は疲労も溜まり、注意も低下することから、一步一步気を張りながら、またメンバー同士で、注意喚起の声掛けが必要だと、再認識した。

<事故報告>

7月29日 11時30分 60歳 女性 鹿島槍ヶ岳
事 象 スリップ転倒 手をついた・尻もちをついた
2泊3日の行程(種池山荘、冷池山荘宿泊)で、北アルプス爺ヶ岳柏原新道登山口より入山、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳へピストン登山。3日目下山時、柏原新道にて登山終了点まで1時間20分の緩やかな下りで滑り尻もちをつく。咄嗟に左手をつき、強い衝撃を受けた。

教 訓 登山時、特に下山時は疲労も溜まり、注意も低下することから、一步一步気を張りながら、またメンバー同士で、注意喚起の声掛けが必要だと、再認識した。

<事故報告>

7月21日 時 分 61歳 女性

白山（南竜テント場付近）

事 象 スリップ転倒 尻もちをついた

南竜テント場3時起き4時出発。観光展望ルートで、室堂・御前峰・お池巡りコースに向かった。テント場を出発してすぐの雪渓を下降する時、先導のため先頭は、CLが歩いた。雪渓上は凍ってはいなかったので、ストックでバランスを取れば、通過可能と判断。雪渓途中で2番手を歩いていた事故者が、尻もちをつくように転倒。その後、歩行に異常は見られなかった。後日、尾骨骨折と判明。

教 訓 雪渓下降が少し早かったかもしれない。ストックがあれば、フラットフットイングで、これくらいのペースで降りてほしいという思いで下降したが、事故者にとっては、早すぎたのが、転倒の原因でもあるので、その点は、反省点である。

<ヒヤリハット>

8月10日 登山開始から 1時30分 66歳 男性

事 象 スリップ転倒 手をついた 雲ノ平

折立から黒部五郎岳経由で雲ノ平へ。最終日(4日目)は終日雨。雲ノ平から薬師沢への下り、苔の石に気を付けていたが、木の根で足を滑らせ転倒。手をついたところがふかふかの腐葉土で怪我なし。急な石の下りのためストックは使用せず。

教 訓 疲れもあったが、ザックをはじめ全て雨で重くなっていた。苔の石にばかり注意が向いてしまい、根っこに不用意に足を置いてしまった。ストックは持っていないで良かったと思う。

<ヒヤリハット>

7月27日 13時30分 70歳 男性

ハケ岳硫黄岳北側約2600

事 象 スリップ転倒 手をついた (崖手前)

雨が強くなってきたので雨具を着けようと登山道わきに依った時に右前に

倒れた。

教 訓 原因は、疲れと右坐骨神経痛の為、右足の踏ん張る力が弱まっていた。

<ヒヤリハット>

7月28日 10時00分 70歳 男性

黒百合Hから渋の湯への下り約2100m 付近

事 象 スリップ転倒 手をついた

ゆるい坂を下山中濡れた石で滑った(右前向きに転倒)

教 訓 症状が現れていなくとも脚力が弱まっていることを自覚しながら慎重に歩く。

<ヒヤリハット>

7月21日 登山開始から4時間 77歳 女性

福井 権現山

事 象 転落 足以外で着地

登山終了点10分程前で、段差30㍍位を降りる際、下に出ていた細い枝に足首が引っ掛かり、登山道から横の木が生えている斜面を3回程回転しながら転落する。幸いにどこも打たず痛みもなかった。その際、めがねを無くした。起き上がり登山口まで元気に歩く。

教 訓 もう少しで登山口だということで緊張感が少し緩んでいたことと、細い枝に気付かなかったことがヒヤリハットの原因と考えられる。緩くなった下りであっても、周囲の状況をしっかり見る必要がある。

おにがじょう
「鬼ヶ城(544m)」

《担当 福知山山の会》

鬼ヶ城は、1575 年（天正 3 年）に織田信長から丹波攻略を命ぜられた明智光秀によって攻略された山城で、石積みなどの遺構が確認できます。山頂からの展望がよく福知山市街や青葉山・大江山などが一望できるコースです。

【日 時】 2025年9月28日（日）雨天中止
気象庁の天気予報（京都府北部）前日17時発表の降水確率が
6時～12時及び12時～18時のいずれかが50%以上
（50%含む）の場合は中止します。

【集 合】 室尾谷山 観音寺駐車場（福知山市大江町南山 963）午前9
時

※駐車場限りがありますのでなるべく乗り合せでお願いします。

（集合場所付近で乗り合せされる場合は、北近畿タンゴ鉄道大江駅裏手の多目的広場
（駐車場：集合場所まで約7キロ）を利用してください。）

※福知山市内に観音寺が2か所ありますので注意してください。

【コ ー ス】 観音寺～鬼ヶ城～観音寺（往復コース）
（歩行約3.5km 約3時間）

【地 形 図】 2万5千分の1「河守、福知山東部・福知山西部」及び地形図

【持 ち 物】 日帰り一般装備

【申 込 先】 金山 晶子（福知山山の会）
申込は会ごとにまとめて、メールでお願いします。

メール aki1127aki@gmail.com

携 帯 090-6916-5342

【申込締切】 9月19日（金）

【申込必要事項】 ①所属会

②氏名・連絡先

③緊急連絡先（氏名及び電話番号）

④所属会緊急連絡先（氏名・電話番号）

⑤車の有無（所属会単位で何台かで教えてください。）

【そ の 他】 当日は福知山山の会の「公開ハイク」を同コースで実施します。



小塩山（642m） 雨天の場合は連絡をします。

京都の西山では第2の高峰で、山頂は淳和天皇陵があり、春にはカタクリの花が咲き、秋には金蔵寺等、紅葉の隠れた名所となっています。ゆっくり山行で行きたいと思います。 約5時間位

山行日 2025年11月30日（日）

集合場所 南春日バス停

集合時間 8時40分頃

コース 南春日～金蔵寺～山頂～大原野神社～南春日バス停

持ち物 日帰り一般山行装備

締め切り 11月26日（水）

申し込み 各会の女性委員 又は乙訓山の会 小室澄枝
Gメール komuro58302@gmail.com
携帯 090-6915-9562

※：参加者には交通手段を追って連絡をします。



クライミング委員会山行 報告

沢登り 《木曽駒ヶ岳 正沢川 細尾沢》

日：8月2日(土)～3日(日) 晴れ、一時雨

メンバー：青山大(やましな)、岩根(左京)、内野(洛中)

今シーズン初の泊り沢山行！！

8/1 山科駅に午後7時集合

天気が微妙なため決行か本谷または樽ヶ沢に変更か検討しつつ、取り合えずコガラ登山口駐車場へ。



8/2 天気は良くはないけども回復傾向と判断して、計画通り正沢川、細尾沢へ。他にも沢装備の方々が2パーティーほどいました。

入渓してすぐ、釣師さんとお出会ったので、最初のゴーロ帯はなるべく沢の中に入らないように。毎度のことながら足にくるゴーロ帯。スタスタ、ペタペタ歩きたいのになかなか上達しません。後ろから来た大学生パーティーにさくっと抜かされましたが、6mナメ滝で再会。



10時半ごろ細尾大滝 40m。左岸の枝沢の高巻で先行の大学生パーティーに大変な迷惑をかけてしまいました。大反省。

高巻後は、連爆帯を楽しくすすみ、2320mあたりで泊地を決めて1日目遡行終了。ツェルトはって早速に焚火しました。ここの集めた枯れ木は今までで一番燃えました。夕方と夜に2回ほど雨。凄い雷でした。

8/3 山頂へ向けて出発。小滝をこえて高度をあげて、森林限界こえるとガレ場の急登。足を置く毎に岩が動いて落石起こさないようにめっちゃめっちゃ緊張。今までで一番いやなガレでした。今回は最後岩登り系の山頂直登でなく、少し右寄りを詰めあがり、木曽小屋前へ出ました。木曽駒ヶ岳山頂は大勢の人で賑わっていました。神社にお参りして、三角点の写真とって、早々に下山開始。午後から天

気は下り坂予報だったので、玉ノ窪沢下降はやめて福島Bコースに変更しました。なかなか長い下りでした。途中、風穴があるのが良き！雨が降る前にコガラ登山口へ戻れました。

沢登り 《一ノ俣谷～東天井岳》

梓川の源流、一ノ俣谷から二ノ俣谷へ継続して大天井岳に抜ける沢旅。が、計画の甘さ？ 精神的余裕の無さ？ 体力面(毎晩各々のザックから出てくる、ビール、ワイン、ウイスキー、ウイナー、ベーコン、焼き鳥…笑)？ それぞれに思うところはあるはずだけど…、沢登りとして最低限のやるべきことが出来るプランBで、前向きに。沢半分、定番の縦走路半分で山行を終えた。

今回連盟予算で購入した“熊撃退スプレー”を持つての行動。試し噴射を少し、その効果は…？！





※ 晩御飯を作る時に、テントの中で火の着いたストーブを倒してしまい、
ケトル一杯のお湯がテント内にこぼれたのはヒヤリハット事例か…。

《2025 年 交流会》 お知らせ 第3号

開催日：11 月 8 日(土) 場所：あかまつの丘 ^{にしほんめ}西本梅

① 交流ハイキング〔^{みやま}深山〕

北摂最高峰で、遮るものが何もない頂上からは 360 度の展望が開けています。行動時間は、3 時間半ほどです。

集合場所・時間：るり溪駐車場 9:00

② 研修集会〔各会・クラブ、連盟の活動報告〕

登山学習例会や会員拡大、連盟専門委員会の取組について、他

集合場所・時間：あかまつの丘 西本梅 9:30

③ 全体集会〔安全登山と登山技術の継承〕

誰もが学べる研修会(登山寿命を伸ばす為の活動、ヒヤリハットのまとめ、全国ハイキング学校の報告、初級登山学校を終えて、他)

※①②は選択制、②③は屋内で実施。雨天時は①を中止し②③のみ実施。

①②共にマイクロバス送迎あり 集合場所・時間：JR 亀岡駅(北口) 8:10

※バス経路：亀岡駅(8:10)～るり溪(9:00)～あかまつの丘(9:30)～るり溪～

～あかまつの丘(12:30)～亀岡駅(16:30 頃)

タイムテーブル

車でお越しの方はそれぞれ現地集合、マイクロバス利用の方は 8:10 に亀岡駅～

① 9:00～12:30 頃 ※下山後、あかまつの丘にて昼食時間

② 9:30～12:30 頃 12:30～13:30 昼食時間

③ 13:30～15:30 頃 ※片付けなどの後、各自解散

持ち物 交流ハイキング：日帰り登山装備一式

あかまつの丘 集会：上靴(スリッパ等)、筆記用具、他

昼食・飲み物など ※あかまつの丘周辺にコンビニなどはありません

参加費：無料

申込：専用の申込書に会ごとでまとめ、各会 60 周年実行委員までお願いします。締切は、10 月 5 日(日)です。

詳細などの問い合わせは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(WAO 亀岡／左京／やましな)

第9回実行委員会(京都労山60周年記念事業)記録 平尾

2025年8月20日(水) pm7時30分～8時10分

(リモート専用) 敬称略

参加者:山本(洛中)、安倉(田辺)、金山(福知山)、青山大(やましな)、岩根(左京)

野原(WAO)、沖(山城)、岩井(伏見)、近藤(乙訓)、西村、高野、平尾(連盟)/12人

<今回の内容>

1 2025 交流会について

- ・8月1日 会場の「あかまつの丘」予約ができた。
- ・8月5日 ライン会議 やましな(青山)、亀岡(菊沢、野原)、左京(岩根)西村の5名参加。内容を検討し、お知らせ第3号を決定した。
- ・8月19日 京都労山9月号にお知らせ第3号掲載
- ・8月20日(本日) 第9回全体会議で討議、検討
- ・8月26日 担当3労山でライン会議
- ・9月7日 担当3労山で下見、打合せ
- ・9月17日 第10回全体会議で最終決定とする

具体的詳細はお知らせ第3号に掲載している。

① 交流ハイク(深山) ②研修集会 ③全体集会の三本立て

- ② は、各会・クラブから学習会・会員獲得方法の具体的報告、京都連盟から現状と問題点の報告、各会からの要望、改善点の検討を行う。
- ③ は、誰もが学べる研修会(登山寿命を延ばすための活動、ヒヤリハットのまとめ、全国ハイキング学校の報告、初級登山学校を終えて他)、参加各会からの活動報告

申込は、各クラブの実行委員が、添付のフォーマットに参加者をクラブ毎にまとめて、やましな山の会青山大地さん迄申し込みしてください。

アドレスは 01daichi27@zeus.eonet.ne.jp です。

随時参加申し込みがあれば報告も可、最終10月5日(日)

60周年記念事業の最初の取り組みであり、各会からの実行委員、常任理事の積極的な参加が鍵になる。記念事業のメインテーマ「京都18労山の交流と世代間での経験・技術の継承」に沿った内容にしていく。ポスト60年を見据えた来年本番での記念事業のカギとなる取り組み。

2 実行委員長、若い人をお願いしたい

会計は、今年度野原さんをお願いした(予算10万円を渡す)

次年度については、引き続き野原さんをお願いするか今後検討していく

全国登山研究集会の紹介 11/15～16 大阪市

3 次回 9月17日(水) PM7時半から WEB会議

交流会の最終打合せ等

京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2025 年 8 月 23 日（晴れ）

やましな：青山郁夫, 久子 右京：荒木賢子

山科駅 8:27--8:57 林道整備 9:28--9:50 安祥寺上寺右俣登山道 10:18--10:21B 尾根取り付き 10:55--10:58B474 周辺 12:57--13:46 駐車場

今回は 3 人の参加者でしたがそれなりに整備できました。

整備箇所に行く途中で先月はなかった 20m はあろうかと言う長い倒木が倒れていました。自然って凄いなと感心しました。京都大阪森林管理事務所の伐採許可を得ていないので枝だけを切って人が通れるようにしました。

とっても暑かったので、もうダメと作業は昼過ぎまでにして下山しました。

荒木賢子

本日は 3 人と寂しい整備でした。

この暑さでは、厳しいものが有りますね。熱中症にならないように気を付けて、休憩を取りながらの作業でした。

休憩時には、たくさんの果物をいただき、冷たい食べ物も。

少人数でしたが、楽しかったです。 有難うございました。

青山久子

作業現場に行くまでにたっぷり汗をかきました。1 か月の間に新たな倒木もあり、谷は狭く、斜面も急なので整備作業も 3 歩下がって 2 歩進むといった調子です。

これからも安全第一で頑張ります。



登山道を塞ぐ倒木



通れるようにした



すっきりです



谷に落ち込んでいる



木も切って



すっきりです

第 43, 44. 45 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 43 回 活動日：2025 年 8 月 13 日, 14 日 七尾市 784km 走行

参加者 やましな：青山郁夫 久子

8/12 雨 京都 8:51-16:00 農遊庵泊 夕食は七尾市一本杉の太左エ門仮設店舗で海鮮丼

8/13 晴 農遊庵-石崎保育園-能登島被災者宅-石崎保育園-太鼓、盆踊り見学-農遊庵泊

★参加者：全体で 53 人 班員 9 人

★活動内容：被災者宅の蔵の物品分別搬出搬送（5 回目で遂に完了）

8/14 晴 農遊庵 7:35-保育園-石崎町被災者宅-保育園 18:10-途中で仮眠-0:25 京都

★参加者：全体で 63 人 班員 13 人

★活動内容：被災者関連の母屋の家の物品分別搬出搬送（2 回目継続）

青山郁夫

当初は乙訓の竹内さんの知り合いの方と珠洲市の郷里に最後のお墓参りに行く予定であったが天候の都合で延期。急遽おらっちゃ七尾の活動に参加した。偶然にも 13 日は石崎小学校の体育館で子供たちの太鼓と盆踊り大会があり見に行った。とても良かった。

14 日は私の家から 1km 程離れた所に住んでおられる方と一緒に活動をした。

青山久子

夏山を堪能して、約 1 か月振りのボランティア活動になる。13 日は神奈川の復興支援隊のメンバーと一緒に蔵の片づけをした。14 日にはボランティア仲間から早くも鹿児島や熊本の水害へのボランティアについて話が出た。活動を通じて知り合える仲間の絆の行動力に驚く。おらっちゃ七尾さんが輪島塗の食器や和服はりメイクする業者と連携するというので旭町倉庫にたくさん運んだ。また形を変えて日の目を見る機会が得られてありがたく思う。



8/13 子ども達の叩く太鼓の音は体全体に響いた。長い練習の成果がここにある。子供達の顔は輝いていた。

石崎町の盆踊り。年寄りだけでなく若い子も一杯来ていた。みんなが踊る姿に感激した。能登は復興に向けて頑張っている。

昭和 46 年初土俵。昭和 47 年初優勝。昭和 48 年横綱昇進。地元の誇り、輪島関がいた。中学校までここから 300m 程離れた家で過ごしていた。



8/13 左, 8/14 右 暑い中、みんな頑張って活動

第44回 活動日：2025年8月29日 30日 七尾市 758km 走行

参加者 やましな：青山郁夫 青山久子

8/28 晴 京都 12:37ー18:20 農遊庵 365kmー弁天湯ー農遊庵泊青山郁夫

8/29 曇 農遊庵 7:28ー7:33 保育園 9:58ー10:04 石崎町被災者作業場ー実家と畑倉庫に
搬送ー保育園ー13:15 南ヶ丘町被災者宅ー旭町倉庫ー保育園 17:11ー農遊庵泊

★参加者 全員で46人 班員6人

★活動内容 AM 被災者作業場の物品を実家と畑の倉庫に搬送 完了

PM 他班応援、被災者宅の物品分別搬出搬送 継続

8/30 晴 農遊庵ー7:35 保育園 10:15ー10:27 七尾市津向町被災者宅（旭町倉庫何度も
往復）ー保育園 18:10ー弁天湯ー23:29 京都

★参加者 全員で103人 班員13人（10人は宗教団体の大学生、女9人男1人）

★活動内容 被災者宅の物品分別搬出搬送（今回は支援初めての家）

青山郁夫

29日の私たちの班はポーランドからの名古屋の大学の女子留学生、滋賀の男子大学生、羽咋市の中学校の女子先生の5人で活動し。留学生がボランティアに参加するなんて凄い。みんな暑い中、汗を流して作業をした。

30日の班員は10人が宗教団体の学生。教団の指示なのか募集で参加したのかは分らないが、全員が明るく朗らかで笑顔で汗をかきながら「こんなんするの初めてだわ」と作業をしていた。誰一人としてイヤイヤ顔をしている子はいなかった。感心した。

青山久子

おらっちゃ七尾ではリーダーをさせていただくことが多く、これはこれで自分自身のいい学びとなっている。今回は両日ともにボランティアが初めての若い方が多かった。この時期でもなお初めてボランティアに来ようと思うその気持ちがうれしい。初めての方がやりがいを持って活動してもらえよう、役割分担して、達成感を感じられるよう工夫してみた。ちょっとしたアドバイスや声掛けに孫（はいないが）ほど年の差がある若者たちが「はい、ありがとうございます。」と気持ちよく反応してくれるので、こちらまで元気をもらって活動がはかどった。



8/29 母屋の片づけ。継続になった。



8/30 宗教団体の若者たちが大活躍。



8/30 は103 人も参加者だった。

第45回 活動日：2025年9月5日 志賀町 珠洲市 872km 走行

参加者 やましな：青山郁夫 青山久子

9/4 曇 山科駐車場 10:40—千里浜—機具岩—17:00 道の駅とぎ海道車中泊 345km

9/5 曇 道の駅とぎ海道 8:18—8:21 富来ボラセン—志賀町富来高田被災者宅（2か所の倉庫往復）—富来ボラセン 15:50— 16:55 農遊庵泊

★参加者 全員で15人 班員 現地集合9人とユナイテッドコッカーズ6人

★活動内容 被災した旅館の物品を2か所の倉庫に搬送

9/6 晴 農遊庵発 6:00—珠洲ボラセン 9:33— 笹波の被災作業場—笹波海岸倉庫に備品を搬送、母屋から物品搬出—飯田港仮置場—珠洲ボラセン 15:32—あみだ湯—23:13 京都着

★参加者 全員で77人 班員：現地班9人と東洋大学の女の子2人の11人

★活動内容 被災した塩田の物品を海岸倉庫に搬送、母屋の物品搬出、仮置き場に搬送

青山郁夫

今回は久々に志賀町と珠洲市の現地集合の予約が取れて行って来た。

5日は志賀町の湖月館と云う解体した旅館の家具布団什器電化製品貝殻を2か所の建屋に移動した。旅館でお土産にする貝殻を一杯運んだ。この時のリーダーは偶然にも昨年の4月16日に志賀町の大福寺の被災者宅に行った時の方でとても懐かしかった。

6日は珠洲市笹波の解体した塩田作業場の事務用品他を笹波海岸の倉庫に運んだ。その後、海岸近くの改修予定の母屋の家具類を被災品仮置き場に搬送した。目の前の隆起した海岸は地震のこわさを物語っていた。塩田と（株）揚げ浜の再興を望んでならない。

青山久子

震災から1年8か月が経った。今回志賀町は1年2か月ぶり、珠洲市は1年ぶりの活動となった。震災直後は個人の家や生活の再建が主だったが、今や生業に対してもボランティアが入りえるようになった。ボランティアも終盤が近づいてきているを感じる。

志賀町ではリーダーが偶然1年5か月前に活動した時と同じ方だったり、活動先の旅館に以前宿泊したことがあるという方がおられたり、珠洲市でもたまたま以前七尾や輪島で活動した時にご一緒した方と出会ったりと、いろいろなところで“つながり”を実感した。

地震で海岸が隆起し、昔の景色は戻らないかもしれないが、そこで生き、暮らし、生計を立てる人たちは決して諦めることなくその地で頑張っている。



9/5 旅館の貝殻を運ぶ



9/6 塩田作業場の資材を運び出し



現地班はボラパスを見送り

2025 年 8 月 21 日

各都道府県連盟 理事長

日本勤労者山岳連盟理事長：川嶋 高志

第 19 回全国登山研究集会の開催について

日頃、労山運動でのご尽力に敬意を表します。

さて、本年 2 月の全国評議会でご承認いただきました全国登山研究集会を、3 年ぶりに大阪市で開催することになりました。

つきましては、下記のとおりご案内いたします。各地方連盟に置かれましてはこの集会成功のために、所属の会クラブに開催の案内・周知をお願いするとともに積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

実 施 要 綱

■テーマ 国民が求める多様な登山要求に対応するための組織強化を図ろう！

■目 的

組織数減少の折から、組織の強化と拡大について具体的な方法を考える。そのために、長く安全に山へ向かう知識と技術、未組織者へのアプローチ、自然保護について考える。

■期 日 2025 年 11 月 15 日（土）～16 日（日）

■会 場 新大阪ユースホステル（大阪府大阪市）

■参加対象 労山会員および全国の登山者

■主 催 日本勤労者山岳連盟

■主 管 全国登山研究集会実行委員会

■日 程 15 日 12：30 受付開始
13：00 開会あいさつ
日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ
13：10～ 基調講演①「これからの労山」（仮題）
川嶋 高志（全国連盟理事長）
基調講演②「登山寿命の延長」（仮題）
石川 昌（全国連盟副理事長・遭難対策部長）
16：00～ 分科会

19：00～ 夕食・懇親会

16日 7：00～8：00 朝食

9：00～11：00 分科会

11：20～12：00 分科会の報告、全体で質疑・意見とまとめ・解散

☆分科会

①「筋トレ」

筋力トレーニングによる転倒事故防止と登山寿命の延長、快適な山行について

②「組織拡大・教育」

市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて。

③「自然保護」

自然保護活動の推進について（大規模開発の問題点）

■参加費用	A 一泊二食での参加	6,000 円
	B 日帰り参加（15・16日）両日でも1日でも資料代	500 円
	C 日帰り参加で15日の夕食・懇親会も参加	2,500 円

AとCは事前に振込（申込受付後、振込先を連絡します。）

Bは当日会場で現金払い

■宿 泊	新大阪ユースホステル
	〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-13-13 10F
	電話 06-6370-5427

■問合せ先	労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
	FAX 03-3235-4324 E-mail jwaf@jwaf.jp

参加申込締切 10月14日（火） 別紙申込書にて全国連盟事務局まで

2025 年 第 19 回全国登山研究集会 参加申込書

都道府県連盟 _____ 団体名 _____

【提出者】 氏名 _____ 電話 _____

メールアドレス _____

参加者名	会員番号または住所・電話番号・メールなど連絡先	性別	年齢	分科会	参加形態
		男 女			
		男 女			
		男 女			

分科会は下記の中から選択して番号を記載してください。

- ① 第1分科会「筋トレ」
- ② 第2分科会「組織拡大・教育」
- ③ 第3分科会「自然保護」

参加形態は下記の中から選択して記号記載して下さい。

- A 一泊二日 (6,000 円)
- B 日帰り (15・16 日の両日でも 1 日でも同じ 500 円)
- C 日帰り+15 日の夕食・懇親会 (2,500 円)

送付先：郵送 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号
日本勤労者山岳連盟・事務局あて

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp

参加費 (6,000 円、2,500 円) の振込先は、参加者に申込受付後、連絡します。振込が確認されて正式な申込受付となります。

2025 年 9 月 10 日

『インドヒマラヤの日本人未踏の谷に行く』 2025 海外山行オンライン交流集会開催案内

日本勤労者山岳連盟

理 事 長 川嶋 高志

海外委員長 武笠 真次

今年の 5 月から 6 月にかけて、インド・ジャムー&カシミールにあるキシトワールヒマラヤの日本人未踏の谷に入った山中芳樹さん（全国連盟海外委員、埼玉県連海外委員長）に、オンラインでトレッキングの報告をしていただきます。

谷の兩岸は険しい岩峰が連なっている。その谷へ放牧するためにたくさんの羊、山羊と共に羊飼いの家族達がやってくる。また一方では、流れ出る清流と、今まさに咲き誇りそうな花々が点在し、緑に覆われた伸びやかな山稜が広がる。それらの谷のトレッキングおよび、4 月のテロ事件に揺れるカシミール観光の中心地・スリナガルは今、どうなっているのか…。

90 分間のオンライン報告をお楽しみください。



日 時	2025 年 10 月 29 日(水) 19:30 ~ 21:00 (60 分: 報告、30 分: 質疑応答)
内 容	日本人未踏の二つの谷のトレッキング報告
報 告 者	山中 芳樹 氏（全国連盟海外委員、埼玉県連海外委員長）
参 加 費	無 料
申 込 方 法	全国連盟HP から https://forms.gle/bTEsX2Pz7hdAywtt5
申込締切日	2025 年 10 月 22 日(水)

※10 月 27 日(月)までに URL が届かない場合は事務局までご連絡ください。



2026 年労山カレンダーのご注文について

いつも労山事務局業務へのご協力ありがとうございます。

2026 年労山カレンダーが間もなく完成します。下記を参照のうえ申し込み下さい。

9 月下旬から順次発送します。

WEB 申込みフォームから注文をお願いします

下記の申込みフォームから入力・送信してください。

カレンダーは、従来、地方連盟で部数を集約していただき、まとめてご請求してきました。定価 1000 円のところ 800 円、送料は 1 送付先は無料です。昨年同様、会・クラブからの注文も受け付けます（送料は一部ご負担ください）。

ご請求は、カレンダー販売終了後に地方連盟ごとにまとめてお送りします（11 月以降を予定）。

【地方連盟からのご注文】 カレンダー価格：800 円

送料：1 宛先無料 ※2 宛先目からは各 600 円を頂戴します。

【会・クラブからのご注文】 カレンダー価格：800 円

送料：1 宛先につき 600 円

例えば・・・A 地方連盟が 5 部、A 地方連盟の加盟団体 X が 3 部、加盟団体 Y が 10 部を注文したとすると、A 地方連盟に（カレンダー代金 800 円×18 部）＋（送料 600 円×2 件）合計金額をご請求します。

会・地方連盟用申込みフォーム

<https://forms.gle/jQe5WJTrhtXwnRaa7>

※労山ホームページからもアクセスできます。

一般販売（1 部 1550 円 送料・税込み）は、
申込みフォームからは受け付けていません。



★メールアドレスがない場合は、FAX 番号 03-3235-4324 へお申込みください。

FAX には、①地方連盟または会・クラブ名 ②氏名 ③住所 ④電話番号 ⑤注文部数を明記してください。

地方連盟 (会・クラブ名)			
申し込み部数	発注部数： 部		
	〒 -	電話番号：	
	住所：		
	氏名：		
送付先			
	会員番号：		

<まとめ・報告>

21日(月) 八海山~中ノ岳 <コースタイム> 4h24(6h)

- 07:01 五竜岳。阿寺山方面は災害の為通行止めになっている。迂回路から来た5人を抜く。五竜岳~中ノ岳に続くアップダウンの激しい痩せ尾根が目の前にある。下りはザレた急坂。かなり厳しい。
- 07:47 荒山。またグッと下り登り返す。小さなピーク毎に鎖がありオカメノゾキ等危険箇所が連続する。長く険しい中々の難路だがそれでも1人であるいは2人で縦走して来る。7~8人とすれ違う。
- 09:15 八合目(1526m)の標示。ここが出雲先か?この手前五竜岳~中ノ岳への中間地点辺りにも鎖。御月山直下はマツムシソウが沢山咲いていて疲れを癒してくれる。
- 10:08 九合目:御月山(1821m)。ここから又祓川迄一気に下り 400m 程登り返す事になる。
- 10:15 祓川水場。水量は少なく殆ど流れていない。僅かに浸み出した水が水溜りに注いでいる。ここで昼食を摂る。ごま塩をたっぷりかけて握ったおにぎりは塩辛く、しかもご飯がパサパサで750mlの水で無理矢理流し込む。水を補給しておく。
- 11:20 中ノ岳避難小屋着。ここでも4~5人休憩中。祓川からの登りは急登だが牧草の様な草が黄色く色付いて美しい。小屋前にデポして山頂へ向かう。小屋は新しく、天水なので煮沸しなければならないがヤカン・鍋・カセットコンロや毛布も10枚程ありトイレもある。問い合わせた南魚沼市役所商工観光課によると「基本的には何も無い」との事だった。
- 11:25 中ノ岳(2085m)登頂。ここにも4~5人いて360度の眺望を楽しんでいる。
- 11:30 避難小屋に戻り駒ヶ岳から来た人に情報を得る。まだ十分時間があるので駒の小屋へ泊まる事にする。それにしても千本松小屋~ここ迄既に6時間程歩いているので流石に疲れた。小屋の日陰で足をザックの上に載せ暫く横になり足の疲れを取る。



この後越後駒ヶ岳(魚沼駒ヶ岳)へ縦走:中ノ岳~越後駒ヶ岳 <コースタイム> 3h06

- 11:56 中ノ岳発~ここから駒ヶ岳へは、遠目には草原の稜線を緩やかに下るコースに見えるがそれも四合目辺り迄。やがて松廊下の岩場。太い松の根が道を塞ぎ、激しいアップダウンの岩場が続く。しかも炎天下の山行。あまりの暑さに流石に疲れて木陰で仮眠。
- 13:59 天狗平。ここからはぐっと急登になるが左の谷から吹き上げて来る風が心地良い。
- 14:38 諏訪平~14:47 雲竜ノ峰。グシガハナへの分岐。駒ヶ岳山頂や駒の小屋が一望出来る。
- 14:58 分岐。ここにデポして山頂へ向かう。
- 15:02 越後駒ヶ岳(2003m)登頂。先着者1人。写真を撮って貰い2人で360度の眺望を楽しみ、荒川岳~平ヶ岳~燧ヶ岳と山座同定。こうやって見渡す山々に登ったのだと思うと感慨深い。
- 15:15 分岐に戻り駒の小屋へ向かう。
- 15:25 駒の小屋着。今日は管理人不在で小屋の中は先に来た人が我が物顔で広いスペースを確保し、後から来た者にスペースを詰めてくれない。仕方がないので廊下で寝る。銀マットと毛布が沢山あるのがありがたい。夕食は千本松小屋で作っ



て買ったおにぎり2個とレトルトパックのおでんを梅酒を飲み乍ら流し込む。夕焼けを楽しむ内に寒くなりシュラフに潜り込む。流石に疲れた。狭い所に40人程が詰め込まれ、しかもバーナーの熱とで蒸し暑い。何度も目が覚め水を飲む。

22日(火) 越後駒ヶ岳~駒ノ湯~八海山登山口 <コースタイム> 3h35

- 04:30 起床~05:30 駒ノ小屋発~06:32 小倉山~08:05 駒ノ湯着~タクシーで八海山ロープウェイPへ移動~巻機山へ向かう。

駒ヶ岳へは、枝折峠からの最短コースを利用してピストンする人が多く駒の小屋が混むそうだ。今回は越後三山縦走が目的だったので駒の小屋泊にしたが、駒の湯か枝折峠へ抜けるにしても、途中の中ノ岳避難小屋泊のつもりで日程を組む方が余程快適に過ごせそうだ。

10月号案内

表紙の写真

屋根谷 克己 さん (らくなん山の会)

屋久島の縄文杉

山の会に入る前、友達と屋久島へ荒川登山口から約 22 km 日帰りで行きました。

すごい迫力だったのを覚えています。



＊この夏、例会で3回目の剣岳に登りました。1回目は14年前。9月なのに雪が降りました。2回目は昨年、ヨコバイ下りてから雨になりました。今年は初めて3日間とも快晴の中、登ることが出来、多くの登山者と出合いました。

年々疲れが増していくなあ、と感じている今日この頃ですが、同時に山脈を覆っている雪溪の厚さも量も明らかに少なくなっていることを感じます。

また、高年齢の登山者も目立ちますが、他の山と比べても青年層の登山者が多い。それと、軽々と登って行く若い女性のソロ登山が目立ちました。山行の直前に室堂で熊の出没情報が流れたこともあり、クマスプレー持参しましたが、使うことはありませんでした。

(H・T)

<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介します。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

＊原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

＊字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年 京都府連盟 月間予定表

10月 神無月・OCT		
1	水	
2	木	
3	金	
4	土	冬山勉強会 実技:体力トレ木曽駒ヶ岳
5	日	冬山勉強会 実技:体力トレ木曽駒ヶ岳
6	月	自然保護委員会
7	火	事務局長会議
8	水	
9	木	冬山勉強会 机上:積雪期登山の歩行
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	常任理事会
15	水	
16	木	
17	金	やまびこ利用日
18	土	大文字山登山道整備
19	日	
20	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
21	火	教育委員会
22	水	女性委員会
23	木	
24	金	
25	土	冬山勉強会 実技:体力トレ木曽駒ヶ岳
26	日	冬山勉強会 実技:体力トレ木曽駒ヶ岳
27	月	常任理事会
28	火	気象勉強会
29	水	
30	木	
31	金	

11月 霜月・NOV		
1	土	大文字山登山道整備
2	日	
3	月	文化の日
4	火	自然保護委員会 事務局長会議
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	連盟交流会 あかまつの丘
9	日	冬山勉強会 公開アイゼントレ・白坂
10	月	常任理事会
11	火	
12	水	
13	木	冬山勉強会 冬山の幕営生活技術
14	金	
15	土	全登研集会
16	日	全登研集会
17	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	火	教育委員会
19	水	
20	木	
21	金	やまびこ利用日
22	土	冬山勉強会 冬山テント泊と歩行訓練
23	日	勤労感謝の日 冬山テント泊と歩行訓練
24	月	振替休日 冬山テント泊と歩行訓練
25	火	気象勉強会
26	水	女性委員会
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	女性山行 小塩山 CL 小室